

今日のトピック 3月の世界の「投信マネー」
新興国株式ファンド、商品ファンドへの流入続く
3月は引き続き「MMF」、「債券」から流出

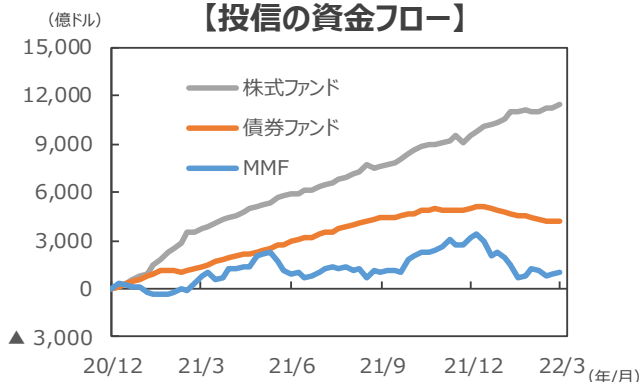
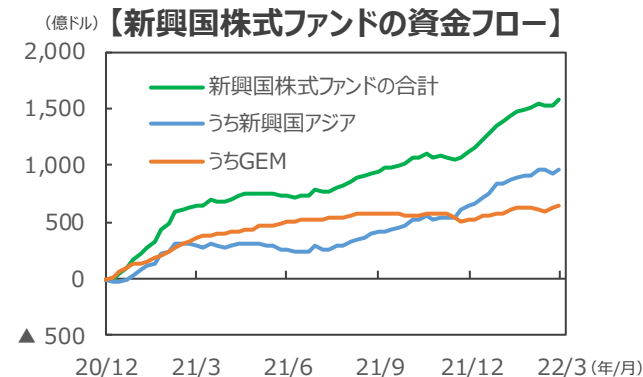
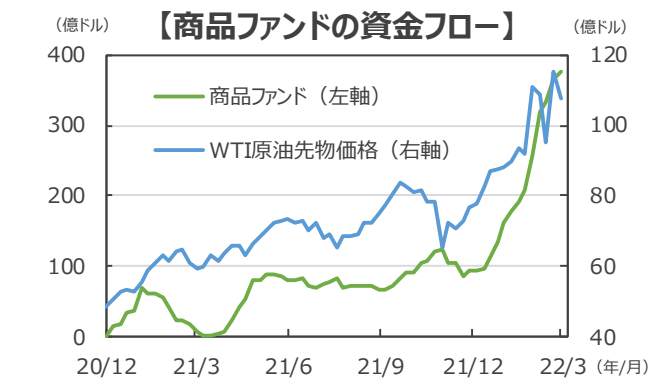
- 22年3月の投信マネーは全体で+138億ドル（2月▲467億ドル）の流入超となりました。「MMF」が▲184億ドル（同▲736億ドル）と流出超過額が大幅に縮小したことが主因です。他は「債券」が▲220億ドル（同▲363億ドル）と流出超過額が縮小し、「株式」が+410億ドル（同+499億ドル）、「バランス」が+4億ドル（同+25億ドル）でした。また「商品（コモディティ）」を含む「オルタナティブ」が+127億ドル（同+108億ドル）でした。

新興国株式への資金フローは「アジア」が中心

- 株式ファンドへの資金流入が継続しています。3月は「先進国」が+342億ドル（同+370億ドル）、「新興国」が+68億ドル（同+129億ドル）でした。最近の「新興国」の特徴は「アジア」が全体をけん引している点です。20年12月からの累計額を見ると、21年12月以降に「新興国アジア」は世界中の新興国株式に投資する「グローバル新興国市場（GEM）」を抜きました。中でも、「中国」には基調として資金が流入しています。中国株式市場の株価は低迷していますが、中長期的な資金が流入している可能性があります。

商品ファンドへの資金流入が継続

- 22年に入ってからは、「オルタナティブ」に含まれる「商品」ファンドに資金が流入しています。「商品」は21年以降流入額が増えていましたが、21年12月以降流入額が大きく増加しています。これは、ウクライナ情勢を受けて原油価格が大きく上昇するなど、商品市況が好調に推移していることが背景です。

【投信の資金フロー】

【新興国株式ファンドの資金フロー】

【商品ファンドの資金フロー】


(注) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2022年2月末現在49.4兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。データは2020年12月30日～2022年3月30日。週次ベース。2020年12月30日からの累積。GEM=グローバル新興国市場。

(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**
2022年3月24日 中国株は振れの大きい展開
2022年3月10日 ウクライナ情勢下、経済制裁から考える3つのシナリオ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。